

むげんほうよう

夢幻泡影

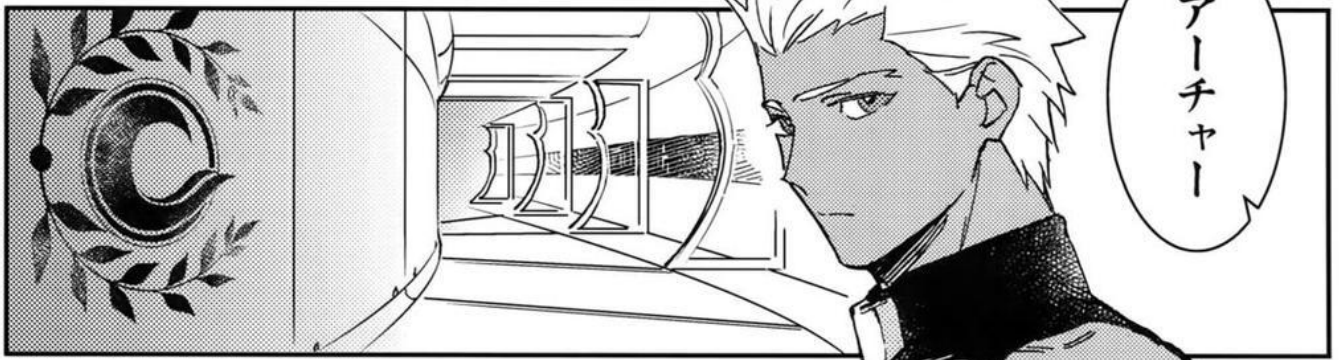
Lancer × Archer

Fate / Grand Order Fanbook #01

Yoke / emya

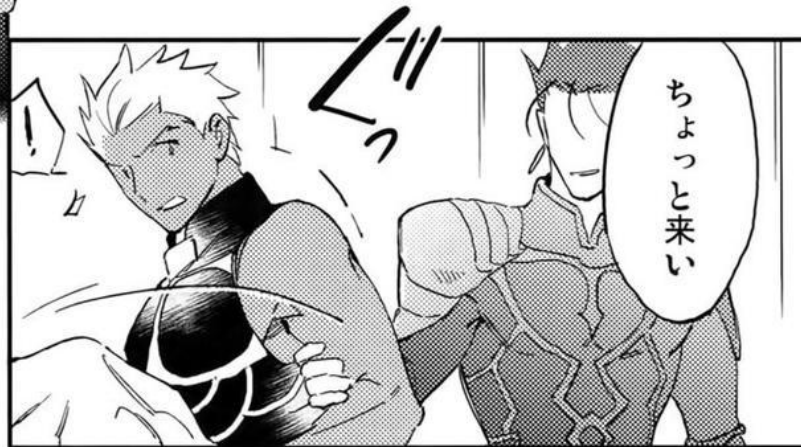
R-18













わあ
美味しそ〜

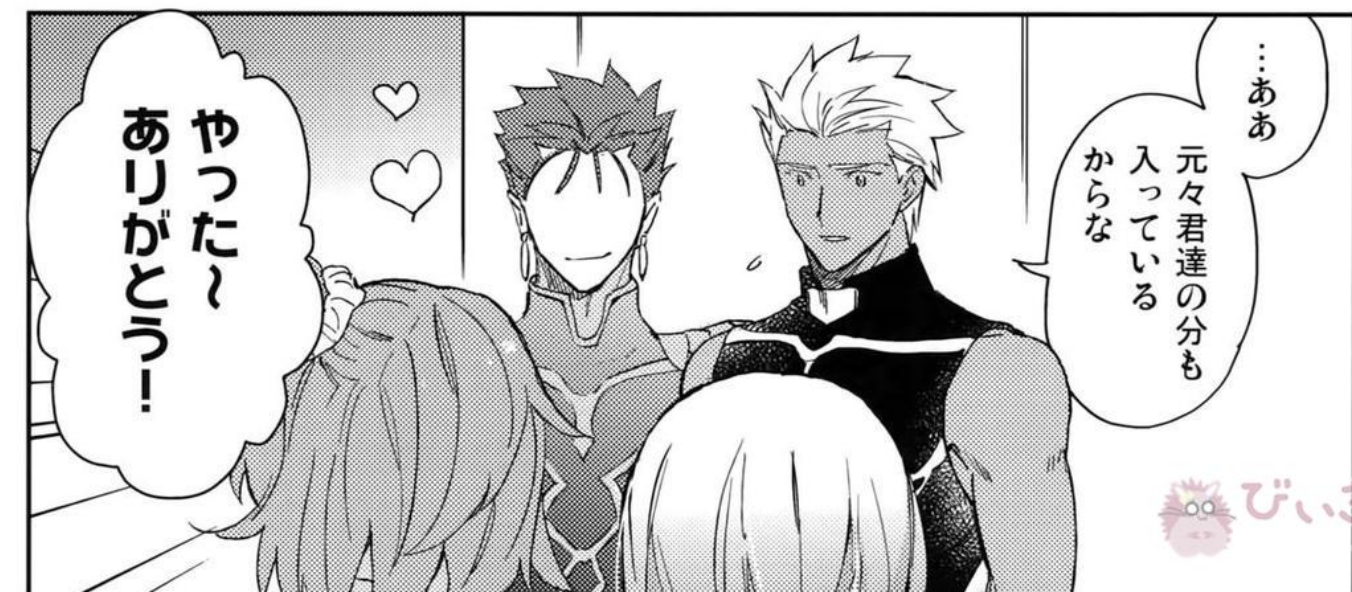
いい匂い
ですね

たくさんあるし
スタッフの奴らと
一緒に食えよ



な? 「エミヤ」

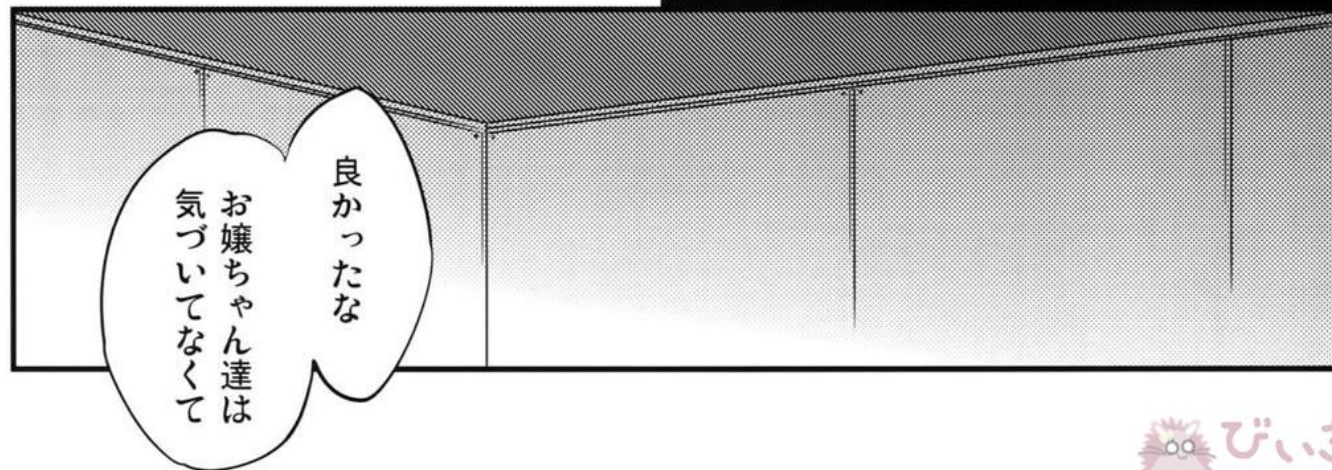
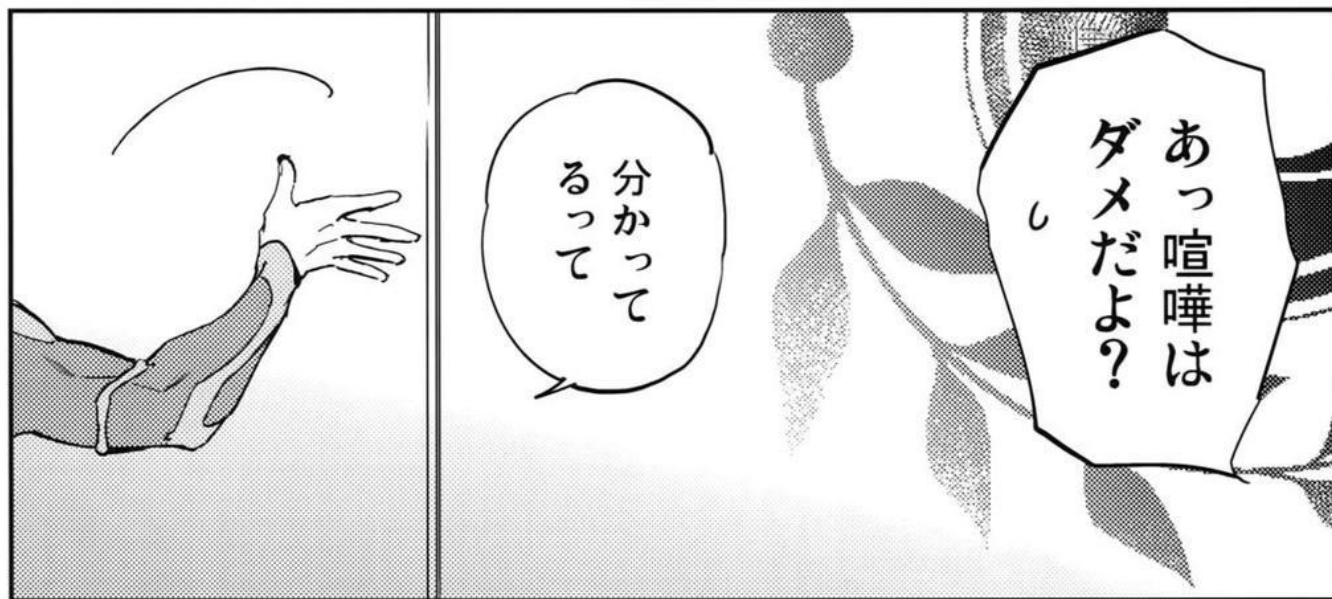
する



…ああ

元々君達の分も
入っている
からな

やった〜
ありがとう!



喧嘩なんてする
わけないよな？

いつも
こんなに仲良く
してんのにな

よっ

ぐ…

クッ
クッ

クッ
クッ

あ

はっ

はあッ

グッ
グッ
グッ

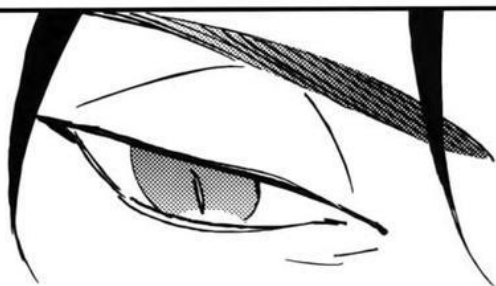
グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



てめえは
オレが望むなら
付き合おうと
いったよな



：言ったが

こんな身体…

一度試せば
飽きるだろう

悪食にも

程がある

なんでも…
口に入れるのは
止めたほうがいいぞ





ったく

発情期の
メス犬みてえに
蕩けた穴で
啜えという

く…

よく憎まれ口
叩けるもんだ

…うるさい

早く
出して終われ



ぬほん

んあっ



あうっ…

おるるる

うっ



……ア

な…

ハハ
さみしそうな声
出しやがって

ほれ
返すぜ

ぐわっ
ぐわっ

キョウッ

んん…っ

カラダは
こんなに
憶えてんのにな

アーチャー

!

ぐわ

すぶっすぶっ

あーすげえ
しゃぶってくる

ぐわ
ぐわ

……

それとも望めば
誰にでも
こうなのか？

そんな成りして
マジでメス犬だな



私を失望させてくれ

ランサー





だが、それだけで
「私」にはどうでもいい

…だから
確かにいつかの君と
懇ろ^{ねんご}になったという
「記録」は所持している



...

関係が事実だとして
それが今更何だと
いうのかね？



私との同衾など
瑣末な出来事
だろう

神代の
英雄である
君にとっては

この現界で
私と君はただの
腐れ縁に過ぎない

そんな
下らない事
より

人類のために
時間を使う方が
有意義だと
思わないか？

……まあいいや

識^しってるなら
話は早い

……下らないとは
随分な言い草だな
弓兵

じゃあ

！

また仕切り直して
抱くのは構わねえ
んだろ？



抵抗
しなかったのは

男が気安く
言い放った言葉に
何故かひどく
安堵したからだ

この硬いだけの
つまらない身体を

ただ欲をぶつける
対象として望むだけ

もしあの時

真摯な愛の言葉でも
ささやかれていたなら

きっと私は英霊として
使い物にならず
すぐにでも座に還っただろう

冬木で

繰り返された4日間

青い髪の男は

幾度となく私を抱いた

しかし

それは座にいる私の
「記憶」として
残ることはなく

感覚を伴わない
ただの「記録」として
他人事のように刻まれた

まるで
人のように
過ごした時間

男が残したはずの
沢山の言葉
態度
ぬくもりは

摩耗した
生前の記憶のように
思い出せない

きつとオレにとって
その日々は忘却に抗う程
大事なものでは
なかったのだ

その程度の想いで
この男に心など
明け渡してはいけない

惹かれては
いけない

アッ
アッ
アッ

アッ











ね、
寝ぼけてる

のか？

カア

ZZZZ

.....

おい
アーチャー！

何だよ
今の

もっかい
見せろ

英霊のくせに
夢見てん
じゃねえ





掃除屋に
「思い出」は
必要ないからな

それに
この現界も
イレギュラーな
事態が重なった
だけで

私が再び英霊として
同じ戦場に
召喚されるかも
わからない

だから
君が少しでも
私の――

……いや

ここでの
馬鹿げた出来事を
憶えていたなら

いい気味だと
思っただけだよ

まあ……君もすぐ
忘れるだろうがね

バカ言え

これきりとか
あり得ねえよ

お前みてえな
ヤなやつ

また逢っちまうに
決まってるんだろ

幸運E
舐めんなよ

つか

もうオレ自体が
触媒だと思わねえ？

散々
マーキング
しちまったもんな

お前のナカも
全部オレの形に
なってる

な…

……だ…

そんな^{カラダ}靈基にした
責任ってやつ
とらねえとな

仕方ねえから
次逢ってもちゃんと
叩きのめしたあと
抱いてやる

っ
黙れ

……
下劣な発想にも
程がある

柄にもない事を
言うのではなかった

向^{こう}ア^ラヤが消して
くれなくとも
さっさと忘れる
ことにするよ

きっと
清々する



ここまで読んで頂きありがとうございました。

好きな人が記憶喪失になった時に自分との記憶を持たないならと身を引くのがエミヤで、記憶がなかろうがやっぱりその人だから好きになるのが兄貴だろうなあという妄想でした。

エミヤさんは本当は冬木でのランサーとの思い出をちゃんと憶えているけれど、本体さんが後生大事にしまいすぎて一時的忘却状態というだけです。
(他の5次メンツとの出来事は普通に覚えてる)
ちなみに自虐モードエミヤに冬木でのことをちょろっとでも匂わせるとフリーズするので兄貴は言葉責めで場をなごませているらしい(?)

今回も大事に思うほど忘れる恐怖があるので余計にめんどくさい男ですが、愛されてればそのうち思い出すから大丈夫です。

ではまた次回お会い出来ましたら幸いです。

夢幻泡影

Fate/Grand Order Unofficial Fanbook#01
Yoke/emya

発行日:2017/03/20
印刷:太陽出版
Pixiv:23140702
Twitter:@Eoioioioio

禁止:無断転載.アップロード.フリマアプリ.ネットオークション出品



